

## 欧州議会選結果概要

平成21年6月  
在ポーランド日本国大使館

### 1. 結果概要（5%条項を超えた政党）

- (1) 「市民プラットフォーム（PO）」（政権政党、EPP所属）  
得票率：44.43%（25議席、+10議席（前回選挙との比較。以下同様。））
- (2) 農民党（PSL、連立政党、EPP所属）  
得票率：7.01%（3議席、-1議席）
- (3) 「法と正義（PiS）」（最大野党、UEN所属）  
得票率：27.40%（15議席、+8議席）
- (4) 民主左翼連合（SLD）・労働同盟（UP）（PES所属）  
得票率：12.34%（7議席、+2議席）

### 2. 投票率

24.53%

### 3. 主要都市動向

- (1) ワルシャワ（PO：3議席、PiS：2議席、SLD-UP：1議席）  
POよりヒュブネル欧州委員（地域開発担当）、PiSよりカミンスキ前大統領府  
国務大臣、SLD-UPよりオレイニチャックSLD下院院内総務等の注目候補  
が立候補したワルシャワは、投票率も38.9%と全13選挙区の中で圧倒的に高  
く、市民の関心が高かった。各党選挙リスト第一位の候補者同士の戦いは、現職  
のヒュブネル欧州委員が37.6%もの得票率を獲得し圧勝する結果となった。
- (2) クラクフ（PiS：3議席、PO：2議席、PSL：1議席、  
SLD-UP：1議席）  
PiSの副党首であり、地元クラクフで圧倒的な人気を誇るジョブロ下院議員が、  
36.06%の得票率にて欧州議員に選出された。同議員が約33万票もの票を  
集めたこともあり、同選挙区ではPiSが3議席を獲得し、議席数において全選  
挙区で唯一PiSがPOに勝利した選挙区となった。
- (3) グダンスク（PO：2議席、PiS：1議席）  
POより出馬した現職のレヴァンドフスキ欧州議員及びワレサ元大統領の息子  
であるヤロスワフ・ワレサ下院議員が、併せて59.2%もの圧倒的な支持を集  
め当選した。

#### 4. 与野党党首反応

##### (1) トウスク首相 (PO党首)

今回の欧州議会選挙の結果からも明らかなおり、PO・PSL連立政権は、国民から再度信任を得た。経済危機という難しい状況の中でも、今後もポーランドの益々の発展のために力を尽くしたい。

##### (2) ヤロスワフ・カチンスキPiS党首

PiSにとって、同選挙結果は決して悪いものではなかった。現政権に不満を持ち、勇気をもって我が党に投票してくれた有権者に感謝の念を表明したい。

(了)